

授業改善等に関する報告書（2025 年前期）

授業アンケートへのフィードバック

平成 28 年度より、学内で使用されている LMS (Lerning Management System) manaba 上で学生が回答した授業アンケート内容に対し、教員がコメントする形式を採っている。

次ページ以下に、それらの「授業アンケートへのフィードバック」をまとめて掲載し、授業改善等に関する報告とする。

[2025（前期）環境デザイン学科] 授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
環境デザイン学入門	内藤 将俊 佐藤 健 大川 知子 加藤木 秀章 塩原 みゆき 滝澤 愛 安齋 利典 一色 ヒロタカ	環境デザイン学入門は、環境デザイン学科の新入生向けの授業内容です。実践入門セミナーとは異なり、各教員の専門分野やカリキュラムマトリックスの理解を求めています。最終レポートもよくできていて、それぞれの目標に向かっている姿勢が見えてとてもよかったと思います（1年生担当：滝澤&佐藤）。
基礎演習 a	加藤木 秀章	日常において、よく数学をみます。何気ないものでも数学が使われているので、意識してみると学修に効果的です。
基礎演習 b	佐藤 健	成績は、皆さんかなり良かったです。シラバスを見てできる人ばかりあつまったのかもしれないですね。今は、必要ない知識とスキルでも、数年後には、就職活動で必要になりますので、忘れないようにしてください。
デザイン基礎演習 a	安齋 利典	大問Ⅰ Q1の欠席は他平均よりやや少なかったようだが、Q4の理解はあまり芳しくない結果となっております。 大問Ⅱ 全体に他の平均を下回っており、改善の余地があると感じております。その中でも、 Q9,10は、やや平均より高く、教材を改善してきた成果かと思います。 大問Ⅲ Q15,16.は比較的強化が高く、この科目に満足して意欲的に取り組んでいたことがわかります。 Q12.具体的に成長を実感したこと に関しては、「考えたデザインを具現化する力が身についた。」「図面を描くのが楽しくなった。また、画材の使用法について知ることができた。」「いろんな透視図法や、角R、パステル・コピックの使い方などを学び、それを描く力が身についた。また、ポートフォリオのまとめる力が身についた。」という肯定的な意見に対して「プロダクトは向いてないのだと実感できた。視野を狭められた。」とい否定的意見もあり、悩ましい結果ともなった。
デザイン基礎演習 a	安齋 利典	大問Ⅰ Q1の欠席は他平均よりやや少なかった。Q4の理解は他の平均とほぼ同等で、まずまずの理解かと思います。 大問Ⅱ 全体に他の平均を下回っており、改善の余地があると感じております。 Q9,10では、説明がそれなりにわかりやす伝わっていたかと思いました。 大問Ⅲ 全体にやや平均よりも高評価であり、意欲的に取り組めたかと思います。 Q12.具体的に成長を実感したこと に関しては、「ものの形の捉え方についての理解が深まった。」「スケッチの重要性や角Rの書き方が理解できた。」「イラストレーターの使い方が身についた。立体に物事を捉えて描く力が身についた。」というような意見が多くあり、安心しました。
デザイン基礎演習 b	梅澤 豪太郎	本講義は前半では、自身が手を動かしてものを作ることで、美しく見え、正しく機能するために必要な工程や精度の重要性を理解し、後半では、スケールの概念の習得や光と影を用いた空間を自身のイメージに合わせて制作することで、基本的なデザインスキルの習得とものづくりの楽しさを体験することを目的としています。 「折り紙建築」は忍耐のいる課題でしたが、皆さんがとても前向きに取り組んでいる姿が非常に印象的でした。その成果として、授業が進むにつれてスキルアップし、最後の「オリジナル課題」では、各々が個性的に光と影を操り、とても素敵な作品が生まれていました。 まだ1年生の前期に過ぎませんが、この素晴らしいスタートを今後の課題や制作につなげて頂きたいと思います。皆さんの今後の更なる成長を期待しております。
デザイン基礎演習 b	梅澤 豪太郎	本講義は前半では、自身が手を動かしてものを作ることで、美しく見え、正しく機能するために必要な工程や精度の重要性を理解し、後半では、スケールの概念の習得や光と影を用いた空間を自身のイメージに合わせて制作することで、基本的なデザインスキルの習得とものづくりの楽しさを体験することを目的としています。 「折り紙建築」は忍耐のいる課題でしたが、皆さんがとても前向きに取り組んでいる姿が非常に印象的でした。その成果として、授業が進むにつれてスキルアップし、最後の「オリジナル課題」では、各々が個性的に光と影を操り、とても素敵な作品が生まれていました。 まだ1年生の前期に過ぎませんが、この素晴らしいスタートを今後の課題や制作につなげて頂きたいと思います。皆さんの今後の更なる成長を期待しております。
マテリアル・デザイン	加藤木 秀章	何かを作りだすとき、材料を検討しなければいけません。身の回りの材料に意識してみると学修に効果的です。

【2025（前期）環境デザイン学科】授業アンケート結果へのフィードバック

コース名	教員名	教員からのコメント
ファッションデザイン論	滝澤 愛	アンケート結果から、「あなたはこの授業に意欲的に取り組みましたか？」の問いに対して、4.71と高い回答となり、受講生が熱心に授業に取り組んだと意識していることが伺え、良かった点である。
プロダクトデザイン概論	安齋 利典	<p>大問Ⅰ Q1. 若干欠席は多かったようですが、全体平均と当該区分平均よりやや上回っていたようです。 Q2. 予習復習は当該区分平均よりやや少ないものの、全体平均より多くやっていたようです。 Q4. 授業の理解度は当該区分平均よりも良かったが、全体平均より低く少々残念でした。</p> <p>大問Ⅱ，Ⅲ 全体的に他の平均より上回っているものが多く、年々改善してきた効果が出始めたようです。 Q12. 具体的に成長を実感したこと に関しては、「プロダクトデザインの歴史やデザインプロセスなどについての理解が深まった。」「ポートフォリオを作る力がついた。」というような意見が多くあり、安心しました。</p>
情報デザイン論	佐藤 健	<p>最終のコンペの結果はどうでしたか？ 授業を通して、基礎的な考え方、歴史、情報デザインの今後の重要性の理解が進んだことと思います。相手にわかりやすい情報の出し方を心がけてください。</p>
建築概論	槇 究	<p>アンケート回答を見て、コメント拝読しました。 コメントを読むと、割と二極化しているかなと思います。好評と不評の両方が並んでいる感じです。いい方は、建築を多様な見方で見られるようになったというようなもので、良くない方は難しいとか量が多いというものです。量が多いのは、そうですね。予習と復習を授業時間と同程度行うという原則に近いものになっているので。 説明と小テストの対応がきちんとしていない時があるというのは、反省します。 難しいのは、点数としても現れているので、改善を考えます。例えば、オンデマンドとした部分とかを工夫する必要があるのかなと思います。 次年度以降に活かせればと思います。</p>
住居学	橘 弘志	<p>アンケート結果は、全体平均とほぼ同じ、もしくは、わかりやすさ、聞き取りやすさ、満足度、意欲などについては、若干上回る結果となった。授業のリフレクションで寄せられた質問に対してすべて回答する、という取り組みは例年行っているが、今回は質問の数が従来に比べかなり多く、授業に対する参加意欲を感じることができた。授業中の回答時間が多少長くなることもあったが、双方向のやりとりの中で聴講学生の理解をより深めることに繋がっているのではないかと考える。</p>